

第3章

資料編

人権感覚育成のための参考資料

1 学校における人権教育全体計画及び年間指導計画への位置付けについて

(1) 小学校

小学校人権教育全体計画（例）



小学校第3学年 年間指導計画（例）

◎人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集【新規】

*人権感覚育成プログラム増補版（学校教育編）平成25年3月

○人権感覚育成プログラム（学校教育編）平成20年3月

月	教科等	主題・題材名	目標	人権教育との関連
4	学級活動	3年生になって	3年生になった喜びと中学年としての自覚をもって自分の目標を作る。	自分のよいところを見付け、自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れる態度を養う。【自己尊重の感情】
5	道徳	母の日のプレゼント	みんなで助け合い、温かい家庭を作っていこうとする心情を育てる。	家族の一員として、楽しい家庭を作ろうとする積極的な態度を培う。【共感と連帯感】
	理科	チョウを育てよう	モンシロチョウの卵を採集して育て、卵、幼虫、蛹、成虫への成長の変化をとらえることができるようにする。	身近な生き物に優しく接しながら生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする意識を高める。【生命尊重】
6	社会	わたしたちの町	身近な地域の環境や様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解する。	身近な社会との関係を理解し、地域の発展のために努力しようとする意識を養う。【参加・参画】
7	学級活動	こんなに大きくなったよ ◎	自分の心身の発育・発達について関心をもち、心身の健康を保持増進する態度を養う。	自他の成長や命の温かみを知ることで、自他の生命を尊重することができるようにする。【生命尊重】
9	道徳	絵はがきと切手	友達と互いに信頼し、助け合い、忠告し合って友情を深めていこうとする心情を育てる。	意見や気持ちを適切に伝え合い、分かり合えるようにする意識を高める。【コミュニケーション能力】
10	学級活動	仲良く、協力しよう ○	縦割り集団活動を通して、児童相互の思いやりの気持ちを育てる。	協力する楽しさを感じさせながら、集団生活に責任をもって主体的に参加しようとする態度を育てる。【参加・参画】
11	学級活動	みんなが えがおで過ごすために ◎	互いの違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活することの大切さを理解する。	お互いの大切さを認め合い、公平・公正に対応しようとする態度を養う。【公平・公正】
12	学級活動	インターネットのやくそく守れている？ ◎	インターネットなどの使い方のルールを守り、心身ともに健康な生活を送ろうとする態度を養う。	自分の権利だけでなく、集団の一員として、責任を果たそうとする態度を養う。【権利と責任】
1	道徳	自分の考えをつたえよう ○	自分の考えをはっきりと伝えるとともによく考えて行動しようとする態度を育てる。	伝え合い、分かり合えるためのコミュニケーション能力の基礎を育てる。【コミュニケーション能力】
2	学級活動	日本のあたりまえは、世界のアタリマエ？ ◎	世界の食材や料理を対比することから、食べ物にはそれぞれの文化的な背景があることについて考える。	多様な見方や考え方があることに気付かせ、それを尊重しようとする態度を育てる。【多様性の尊重・共生】
	道徳	一輪の花	誰に対しても分け隔てなく接することのできる判断力を育てる。	一方に偏ることなく、平等を重んじ、公平・公正に接することを貫こうとする態度を育む。【公平・公正】
3	国語	おにたのぼうし	文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く。	異なる立場や価値観を尊重し、共生しようとする気持ちの大切さについて考える。【多様性の尊重・共生】

(2) 中学校

中学校人権教育全体計画（例）



中学校第3学年 年間指導計画（例）

○人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集【新規】

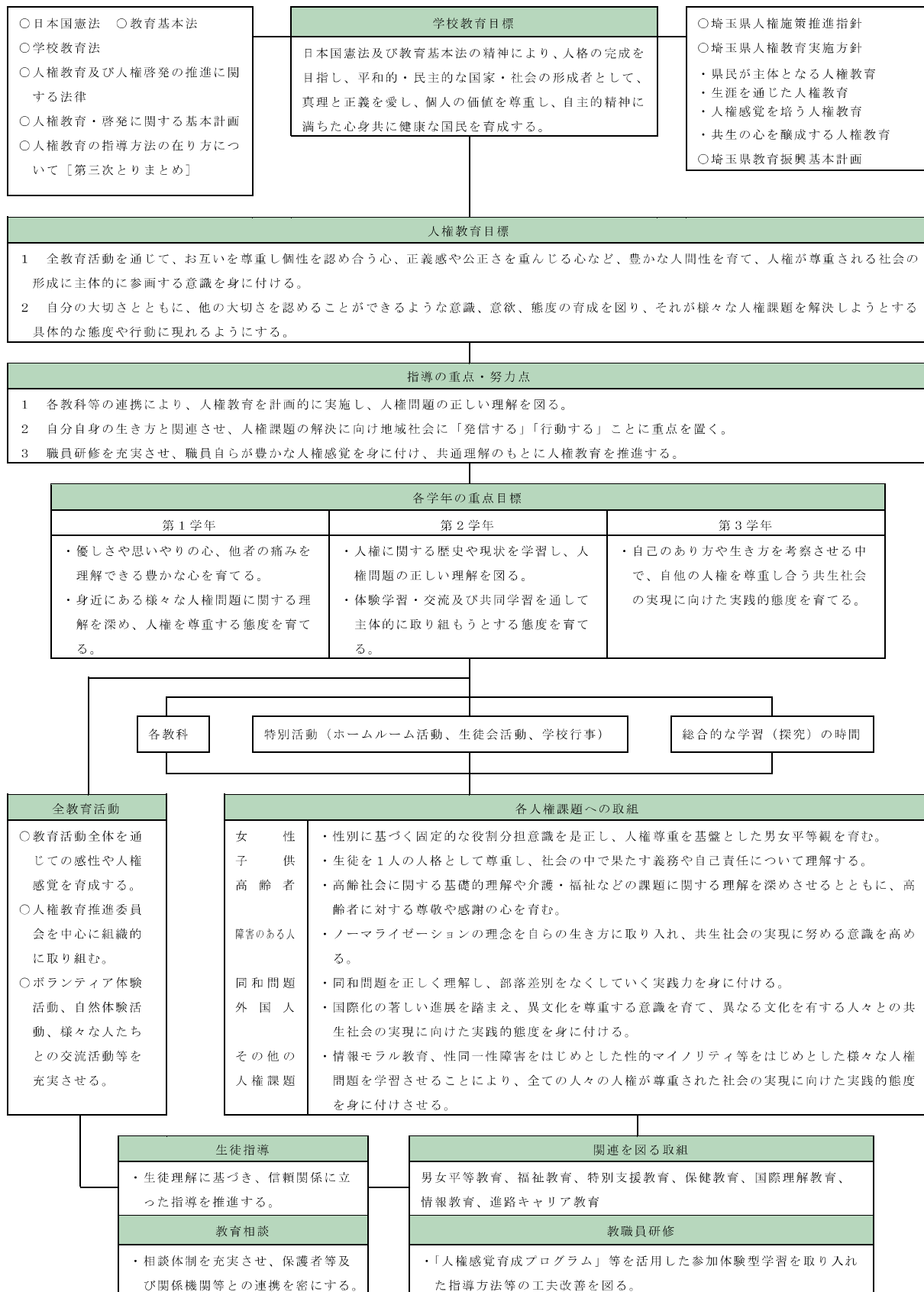
*人権感覚育成プログラム増補版（学校教育編）平成25年3月

○人権感覚育成プログラム（学校教育編）平成20年3月

月	教科等	主題・題材名	目標	人権教育との関連
4	社会	第一次世界大戦と社会「広がる社会運動と普通選挙の実現」	大正デモクラシーの風潮の中、社会運動の高まりの中で、部落差別の解消を目指す動きが始まったことを理解する。	同和問題について正しく理解し、同和問題を解決しようとする態度を養う。【同和問題】
5	学級活動	あなたならどうする ○	他者の権利を侵害することなしに積極的に伝える力を養う。	意見を豊かに表現し、的確に理解し合えるように、コミュニケーション能力を培う。【コミュニケーション能力】
	技術・家庭	情報モラル	技術に関わる倫理観や他者と協働して粘り強く物事を前に進める態度を養う。	マナーを守ることが人権尊重につながっていることに気付く。【インターネットによる人権侵害】
6	学級活動	「属性」について考えてみよう ◎	自他の個性を肯定的にとらえ、それらを生かして協力し合う態度を育む。	生き方や価値観には多様性があることに気付き、それを尊重する姿勢を身に付ける。【多様性の尊重・共生】
7	社会	多文化共生社会の中で生きる私たち ◎	日本の中に見られる外国文化について考え、多文化共生と異文化理解の大切さに気付く。	互いの文化を認め、社会の一員としてより良い社会を形成していこうとする意欲と態度を養う。【共感と連帯感】
9	学級活動	あなたは何を持って行きますか？ ◎	自然災害等に対しての心構えや状況に応じて自他の安全を確保する適切な行動がとれる力を養う。	互いに支え合って生きていることを理解し、生命への畏怖の念をもてるようにする。【生命尊重】
	社会	ケーキをおいしく食べるためには ◎	話合いやロールプレイを通じて、公平の考え方について理解する。	公平とは何かを理解し、日常生活の中でよりよい人間関係の構築につなげられるようにする。【公平・公正】
10	社会	ちがいのちがいの ○	自他の人権について考え、人権意識の基礎を身に付ける。	男女平等や男女共同参画の大切さに気付き、その実現に努めようとする意識や態度を培う。【参加・参画】
	社会	人権とは？ ○	子供を含め、全ての人生まれながらにして持つ人権について理解を深める。	「子どもの権利条約」に照らして考え、自他の人権を尊重する態度を養う。【権利と責任】
11	道徳	ドナーカード	生命の尊さを深く自覚し、自他の生命を尊重する態度を養う。	臓器移植に関連して生命の大切さに気付き、自他の生命を尊重する態度を養う。【生命尊重】
12	学級活動	いいところ探偵 ○	自己肯定的なキーワード群を手掛かりに自分や友人のよさを再認識し、積極的に行動する意欲を育む。	肯定的な自己理解を深めさせるとともに、自己尊重の感情を高める。【自己尊重の感情】
1	学級活動	ストレスに打ち勝て ◎	心身の健康を保持増進するために、自己管理を行うことの意義やその方法を理解する。	自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れることができるようにする。【自己尊重の感情】
2	数学	缶のまわりの長さを求めよう *	文字と式、及び一次関数の応用として、多面的な見方・考え方を育む。	自他の考えを尊重し、比較することで、自己表現力やコミュニケーション能力を培う。【コミュニケーション能力】

(3) 高等学校

高等学校人権教育全体計画（例）



高等学校第2学年 年間指導計画（例）

○人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集【新規】

*人権感覚育成プログラム増補版（学校教育編）平成25年3月

○人権感覚育成プログラム（学校教育編）平成20年3月

月	教科等	主題・題材名	目標	人権教育との関連
4	ホーム ルーム 活動	匠の里 ○	集団内の組織化、意思決定、リーダーシップのあり方について考える。	自他を尊重し、協力して問題解決を図るためのコミュニケーション能力を育成する。【コミュニケーション能力】
5	公民	現代の民主政治と政治参加の意義	日本国憲法の基本的人権の尊重を通して、差別の非合理性について理解を深める。	部落差別の非合理性について理解し、差別をなくす意欲と実践力を養う。【同和問題】
	ホーム ルーム 活動	あなたは賛成ですか？反対ですか？ ○	他者の意見を傾聴し、自己の意見を適切に表現する能力を養う。	自他ともにかげがえのない人間として認識し、自分自身を尊重しようとする感情や態度を養う。【自己尊重の感情】
6	公民	どうする？ 町の問題！ ◎	利害が対立する問題を、相互にプラスになるような解決策を考える。	同じ社会集団の一員として、共通の目的を目指して努力することができるようにする。【共感と連帯感】
	家庭	青年期の自立と家族・家庭及び社会	男女共同参画社会の実現に向け、家族・家庭のあり方について理解を深める。	習慣・慣行の中にある差別意識や性別に基づく固定的な役割分担を見直し、男女平等観の形成を図る。【女性】
7	ホーム ルーム 活動	尊重し合う社会をつくるために ◎	デートDVを題材としてロールプレイや話し合い活動を行い、お互いを尊重した言動について考える。	相互に尊重することの重要性を認識し、積極的に社会に参加・参画していくことができるようにする。【参加・参画】
9	公民	脳死と臓器移植について考える ◎	脳死と臓器移植を題材とした話し合い活動を通して、自他の生命の尊重について、多面的・多角的に考える。	自分の命を大切に、他者の生命も尊重して、生命のぬくもりを感じ取れるようにする。【生命尊重】
10	保健 体育	現代の感染症とその予防	性感染症について、感染経路や予防対策について正しい理解を深める。	HIV等について正しく理解し、HIV感染者等への差別に対して適切な行動がとれるようにする。【HIV感染者等】
11	総合的 な学習 (探究) の時間	「夢」をもって生きる ◎	公民権運動に関する話し合い活動を通じて、人種差別について考えを深める。	相手の立場に立って、その気持ちを想像したり、考えたりすることができるようにする。【人間の尊厳・価値の尊重】
12	ホーム ルーム 活動	長所も短所もいいところ ◎	お互いの長所を褒め合うことで、よりよい人間関係を形成するとともに、自他の個性を理解し尊重する。	自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れることができるようにする。【自己尊重の感情】
1	情報	情報社会の問題解決	情報社会において果たす役割や責任、情報モラルなどについて、理解を深める。	インターネットやSNSによる人権侵害の加害者・被害者とならない判断力を身に付ける。【インターネットによる人権侵害】
2	総合的 な学習 (探究) の時間	ともに分かり合うために ◎	外国人居住者との間のトラブルについて、生活習慣の違い等を踏まえて、共生するための解決方法を考える。	相手の立場に立ち分かり合おうとする態度や、自分の考えを適切に伝える技能を養う。【コミュニケーション能力】
3	総合的 な学習 (探究) の時間	よりよい社会の実現に向けて！ ◎	課題について自分自身のあり方、生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて行動する意識を高める。	公平・公正を尊重し、よりよい社会の実現に努めようとする心情や態度を養う。【公平・公正】

2 人権感覚育成プログラムの活用対応表について

■は新規。○は人権感覚育成プログラム(平成20年3月)
*は人権感覚育成プログラム増補版(平成25年3月)

(1) 小学校

※「視点」…5ページ参照

学年・教科等	教材名	視点	学年・教科等	教材名	視点
小学校1年生生活	「いのち」って あったかい！ ○	生命尊重	小学校4年生学級活動	聞くって どういうこと？ 話すって どういうこと？ ○	共感と連帯感
小学校1年生生活	みんな にこにこにっこり なかまだよ！ ○	共感と連帯感	小学校4年生社会	「ごみ」から学ぼう！ ○	権利と責任
小学校1年生生活道徳	まかせて！ やってみよう！ さいごまで！ ○	権利と責任	小学校4～6年生学級活動	たんでいゲームでコバトンを見つけよう！	人間の尊厳・価値の尊重
小学校1～2年生 図画工作	すきなもの いっぱい	人間の尊厳・価値の尊重	小学校4～6年生学級活動	「命」とつながりのある食材はどれだろう？	生命尊重
小学校1～2年生 道徳	すてきなじぶん はっけんのたび	自己尊重の感情	小学校4～6年生学級活動	あなたの宝物	自己尊重の感情
小学校1～3年生学級活動	クラスがもっとよくなるか かりのきめかたをかんがえよう！	参加・参画	小学校4～6年生学級活動	似顔絵をえがこう！	共感と連帯感
小学校2年生生活	こんなお話 ないかな ○	人間の尊厳・価値の尊重	小学校4～6年生 体育	○年○組オリジナルルールを考えよう	公平・公正
小学校2年生生活	じぶん たんけん みらいの じぶんへ ○	自己尊重の感情	小学校4～6年生学級活動	誰もが過ごしやすい学校にしよう！	コミュニケーション能力
小学校2年生学級活動	きいて きかれて いいきもち	共感と連帯感	小学校4～6年生学級活動	当たり前って どういうこと？	参加・参画
小学校2年生学級活動生活	みんなが楽しめるゲームを考えよう ○	公平・公正	小学校5年生学級活動	こんなとき どうする？ ○	公平・公正
小学校2年生 国語	いろいろな国の 遊びを知ろう ○	多様性の尊重・共生	小学校5年生 国語	話し合うために大切な言葉(対立と協調) *	コミュニケーション能力
小学校2年生生活	1年生を むかえよう *	コミュニケーション能力	小学校5年生 家庭	家庭内の男女共同参画とは *	参加・参画
小学校2年生学級活動	わたしはだれでしょう	コミュニケーション能力	小学校5～6年生学級活動	ありのままのわたし ○	自己尊重の感情
小学校2～3年生学級活動	こんなに 大きくなったよ	生命尊重	小学校5～6年生学級活動	男らしさ、女らしさって なんだろう？	多様性の尊重・共生
小学校3年生学級活動	みんなが えがおですごすために	公平・公正	小学校5～6年生学級活動	新しい大陸に向けた航海	権利と責任
小学校3年生学級活動	日本のあたりまえは、世界のアタリマエ？	多様性の尊重・共生	小学校6年生学級活動	あなたにとって 大切なものは？ ○	人間の尊厳・価値の尊重
小学校3年生 道徳	自分の考えをつたえよう ○	コミュニケーション能力	小学校6年生 道徳	生きているって すばらしい ○	生命尊重
小学校3年生学級活動	インターネットのやくそく守れている？	権利と責任	小学校6年生 総合的な学習の時間 社会	心でわかり合おう ○	多様性の尊重・共生
小学校3年生学級活動	仲良く、協力しよう ○	参加・参画	小学校6年生学級活動	心の中は…？ ○	コミュニケーション能力
			小学校6年生学級活動 社会	だれもが安心して くらせるまち ○	参加・参画

(2) 中学校

学年・教科等	教材名	視点
中学校1年生 道徳 中学校3年生 理科	バッタとカマキリ どちらの命が大切? ○	生命尊重
中学校1年生 学級活動 中学校3年生 社会(公民)	ノーマライゼーション社会の実現を目指して ～障害者との共生～ ○	共感と連帯感
中学校1年生 学級活動 中学校3年生 社会(公民)	公平ってどんなこと? ○	公平・公正
中学校1年生 学級活動	少数派の気持ちは? ○	多様性の尊重・共生
中学校1年生 学級活動	安心クラスをつくろう	参加・参画
中学校1～2年生 技術家庭	あなたならどうする?	人間の尊厳・価値の尊重
中学校1～3年生 学級活動	新しい大陸に向けた航海 *	人間の尊厳・価値の尊重
中学校1～3年生 道徳	情報化社会をどう生きる? ○	権利と責任
中学校2年生 学級活動	権利の熱気球 ～権利のランキング～ ○	人間の尊厳・価値の尊重
中学校2年生 総合的な学習の時間	外国からの留学生	コミュニケーション能力
中学校2～3年生 学級活動	あなたは何を持って行きますか?	生命尊重
中学校2～3年生 学級活動	ストレスに打ち勝て	自己尊重の感情
中学校2～3年生 学級活動	「属性」について考えてみよう	多様性の尊重・共生
中学校3年生 学級活動	いいところ探偵 ○	自己尊重の感情
中学校3年生 社会(公民)	マンション耐震化工事費用負担の割合、どうする? *	共感と連帯感
中学校3年生 社会(公民)	多文化共生社会の中で生きる私たち	共感と連帯感
中学校3年生 社会(公民)	ケーキをおいしく食べるためには	公平・公正
中学校3年生 数学	缶のまわりの長さを求めよう *	コミュニケーション能力
中学校3年生 学級活動	あなたならどうする ○	コミュニケーション能力
中学校3年生 学級活動 社会(公民)	人権とは? ○	権利と責任
中学校3年生 学級活動 社会(公民)	ちがいのちがい ～男女共同参画社会について考える～ ○	参加・参画

(3) 高等学校

学年・教科等	教材名	視点
高等学校1年生 現代社会	新聞記事から探す人権 ○	人間の尊厳・価値の尊重
高等学校1年生 総合的な学習(探究)の時間 高等学校3年生 倫理	あなたならどうする? ～臓器移植～ ○	生命尊重
高等学校1年生 ホームルーム活動	シールで仲間 ○	共感と連帯感
高等学校1年生 総合的な学習(探究)の時間 家庭基礎	あなたの大切なものは? ○	多様性の尊重・共生
高等学校1年生 公民	社会の海へ漕ぎ出す君へ	権利と責任
高等学校1年生 総合的な学習(探究)の時間	ジェンダー(社会的性別)に気づこう! ○	参加・参画
高等学校1年生 保健体育	男女共同参画の視点に立ったルール決め *	参加・参画
高等学校1～2年生 ホームルーム活動	尊重し合う社会をつくるために	参加・参画
高等学校1～3年生 公民	脳死と臓器移植について考える	生命尊重
高等学校1～3年生 ホームルーム活動	あなたは賛成ですか? 反対ですか? ○	自己尊重の感情
高等学校1～3年生 ホームルーム活動	長所も短所もいいところ	自己尊重の感情
高等学校1～3年生 公民	どうする? 町の問題!	共感と連帯感
高等学校1～3年生 総合的な学習(探究)の時間	ともに分かり合うために	コミュニケーション能力
高等学校2年生 総合的な学習(探究)の時間	よりよい社会の実現に向けて!	公平・公正
高等学校2年生 ホームルーム活動	匠の里 ○	コミュニケーション能力
高等学校2～3年生 総合的な学習(探究)の時間	「夢」をもって生きる	人間の尊厳・価値の尊重
高等学校3年生 政治・経済	地域紛争～パレスチナ問題～ *	共感と連帯感
高等学校3年生 ホームルーム活動 高等学校1年生 現代社会	一歩前へ進め ○	公平・公正
高等学校3年生 ホームルーム活動	私も大切、あなたも大切	多様性の尊重・共生
高等学校3年生 総合的な学習(探究)の時間	関連づけよう ～市民社会とは?～ ○	権利と責任

3 「埼玉県版人権学習に係る質問紙」の活用について

(1) 「埼玉県版人権学習に係る質問紙」について

「埼玉県版人権学習に係る質問紙」は、[第三次とりまとめ]（平成20年3月）で示された人権教育を通して育てたい資質・能力である知識（知識的側面）、価値（価値的・態度的側面）、技能（技能的側面）を評価の三観点として設定するとともに、九つの「人権感覚育成のための視点」を規準に、計27の質問項目を掲載しています。

学校において、計画的・意図的に人権教育を実施することによる、子供たちの人権感覚の育成状況の変容を見届ける資料として活用できます。

埼玉県版人権学習に係る質問紙 - 2016. 中・高校版 -		埼玉県教育委員会	
No.	質問	回答	
1	誰に対しても公平です。	C-5	5-4-3-2-1
2	「考える」ことが、友達とのコミュニケーションの基礎です。	A-7	5-4-3-2-1
3	友達の気持ちを考えることができます。	C-1	5-4-3-2-1
4	どんな時でも、自分の命を大切にしています。	B-2	5-4-3-2-1
5	正義を守ろうとする気持ちがあります。	B-5	5-4-3-2-1
6	よい集団をつくるため、多くの友達と協力して行動することができます。	C-9	5-4-3-2-1
7	命は、かけがえのない大切なものです。	A-2	5-4-3-2-1
8	友達と考えや気持ちを伝え合うことは大切です。	A-4	5-4-3-2-1
9	様々な価値観を尊重しようとする態度を身につけています。	B-6	5-4-3-2-1
10	人や動物など生命あるもののぬくもりを感じとることができます。	C-2	5-4-3-2-1
11	身近にある差別について理解しています。	A-5	5-4-3-2-1
12	人は、誰も一人一人価値ある存在です。	A-1	5-4-3-2-1
13	集団の一員として責任を果たそうとしています。	B-8	5-4-3-2-1
14	自分の考えをわかりやすく友達に伝えることができます。	C-7	5-4-3-2-1
15	よい集団を作るには、積極的に意思決定に参加することが大切です。	A-9	5-4-3-2-1
16	集団の一員として多くの人に支えられていることに気づいています。	C-3	5-4-3-2-1
17	自分の役割を責任をもってやり遂げることができます。	C-8	5-4-3-2-1
18	差別を許さない態度を身につけています。	B-4	5-4-3-2-1
19	よりよい集団づくりに自分から進んで参加しようとしています。	B-9	5-4-3-2-1
20	自分は、たった一人の大切な存在です。	A-3	5-4-3-2-1
21	ありのままの自分を大切な存在と受け止めようとしています。	B-3	5-4-3-2-1
22	集団生活の中で、責任を果たすことは大切です。	A-8	5-4-3-2-1
23	友達とのコミュニケーションを深めようと努めています。	B-7	5-4-3-2-1
24	友達をいつも大切にしようとしています。	B-1	5-4-3-2-1
25	誰とでも分け隔てなく、協力して取り組むことができます。	C-4	5-4-3-2-1
26	様々な価値観をもった人々と暮らしていることを理解しています	A-6	5-4-3-2-1
27	自分と異なる価値観を持つ友達に対しても関わるすることができます。	C-6	5-4-3-2-1

<三つの観点>

- A 知識（知識的側面）
- B 価値（価値的・態度的側面）
- C 技能（技能的側面）

<九つの「人権感覚育成のための視点」>

- 1 人間の尊厳・価値の尊重
- 2 生命尊重
- 3 自己尊重の感情
- 4 共感と連帯感
- 5 公平・公正
- 6 多様性の尊重・共生
- 7 コミュニケーション能力
- 8 権利と責任
- 9 参加・参画

(2) 調査方法について

計画的・意図的に人権教育を実施したことにより、児童生徒にどの程度人権感覚を育むことができたかを点検・評価するために、年2回程度調査を実施します。

- ①「埼玉県版人権学習に係る質問紙」は、小学校（1年～3年）版、小学校（4年～6年）版、中・高校版の3種類があります。
- ②各学校の児童生徒の実態に応じて、質問の表現を変える等、内容を改めて活用することも可能です。児童生徒の発達段階に応じた質問紙にすることで、学校の実態に合ったより正確な人権感覚の育成状況を把握することができます。
- ③各学校の児童生徒の実態に応じて、質問項目の数を減らしたり、測りたい視点にポイントを絞って活用したりすることも可能です。

(例) 児童生徒の実態に応じて、内容を改めた質問紙

- ・質問項目は、9視点を6視点到絞って、合計質問数を27から18に減らしています。
- ・回答の仕方は、5件法でなく4件法にしています。
- ・質問の表現の一部を変えています。

人権学習に係る質問紙 -小学校(4年～6年)版-

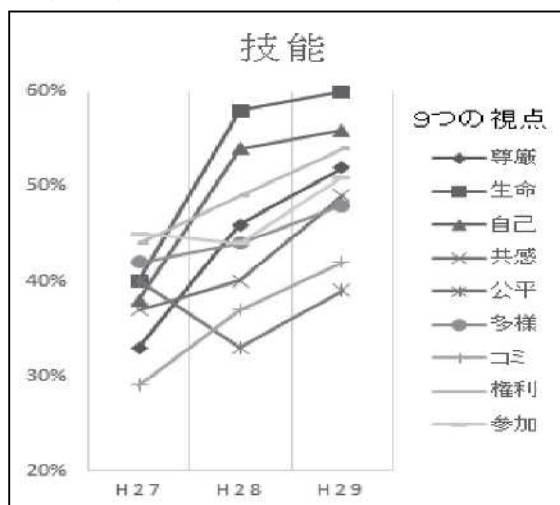
No.	質問	回答
1	友達をいろいろな点から理解しようとしています。	4-3-2-1
2	どんな時でも、自分の命を大切にしています。	4-3-2-1
3	自分はたった一人の大切な存在です。	4-3-2-1
4	様々な考えをもつ人々がいることを理解しています。	4-3-2-1
5	自分の長所も短所も素直に受け止めようとしています。	4-3-2-1
6	よりよい学級づくりに自分から進んで関わろうとしています。	4-3-2-1
7	人や動物の生命のぬくもりを感じることができます。	4-3-2-1
8	自分の責任や仕事を果たすことは大切です。	4-3-2-1
9	家族や友達に大切にされていることに気づくことがあります。	4-3-2-1
10	自分たちで決めたままりや約束を守ろうとしています。	4-3-2-1
11	自分の気持ちを友達に分かるように伝えることは大切です。	4-3-2-1
12	人の外見や考え方・感じ方に違いがあることを受け入れようとしています。	4-3-2-1
13	責任をもって、自分の役割をやりとげることができます。	4-3-2-1
14	自分の気持ちや考えを友達にわかるように伝えようとしています。	4-3-2-1
15	友達との学び合いを大切にしながら、物事を進めることができます。	4-3-2-1
16	よい学級を作るには、進んで友達と関わるのが大切です。	4-3-2-1
17	命はかけがえのない大切なものです。	4-3-2-1
18	よい学級をつくるために、友達と協力することができます。	4-3-2-1

(3) 集計について

実施した質問紙を集計することで、各学校の人権感覚の育成に係る成果や課題が明確になり、課題解決に向けた具体的な取組を考える上での資料とすることができます。

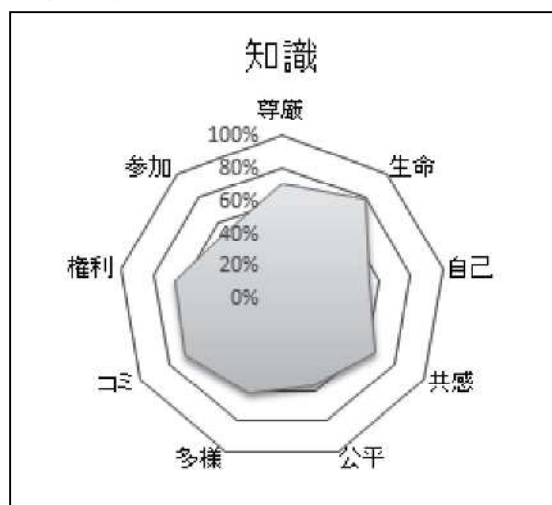
- ① 観点や視点ごとに集計し、推移をグラフ化することで、人権感覚の育成状況を発達段階や指導内容と関連して把握することができます。
- ② 九つの視点の数値をレーダーチャートで表すことで、他の視点との比較が容易となり、視点ごとの育成状況を客観的に把握することができます。

(例1)



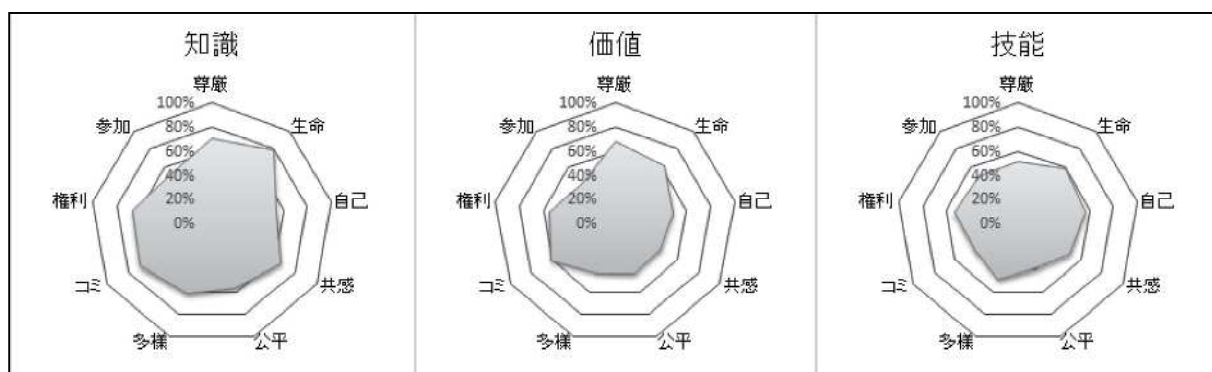
各視点に伸びが見られ、実践した指導に効果があったことが分かります。今後も指導の継続が望まれます。

(例2)



視点別に見ると、「参加・参画」「自己尊重の感情」「公平・公正」の視点は、他よりやや低い状況です。今後は、この視点に関する指導を、より工夫することが望まれます。

(例3)

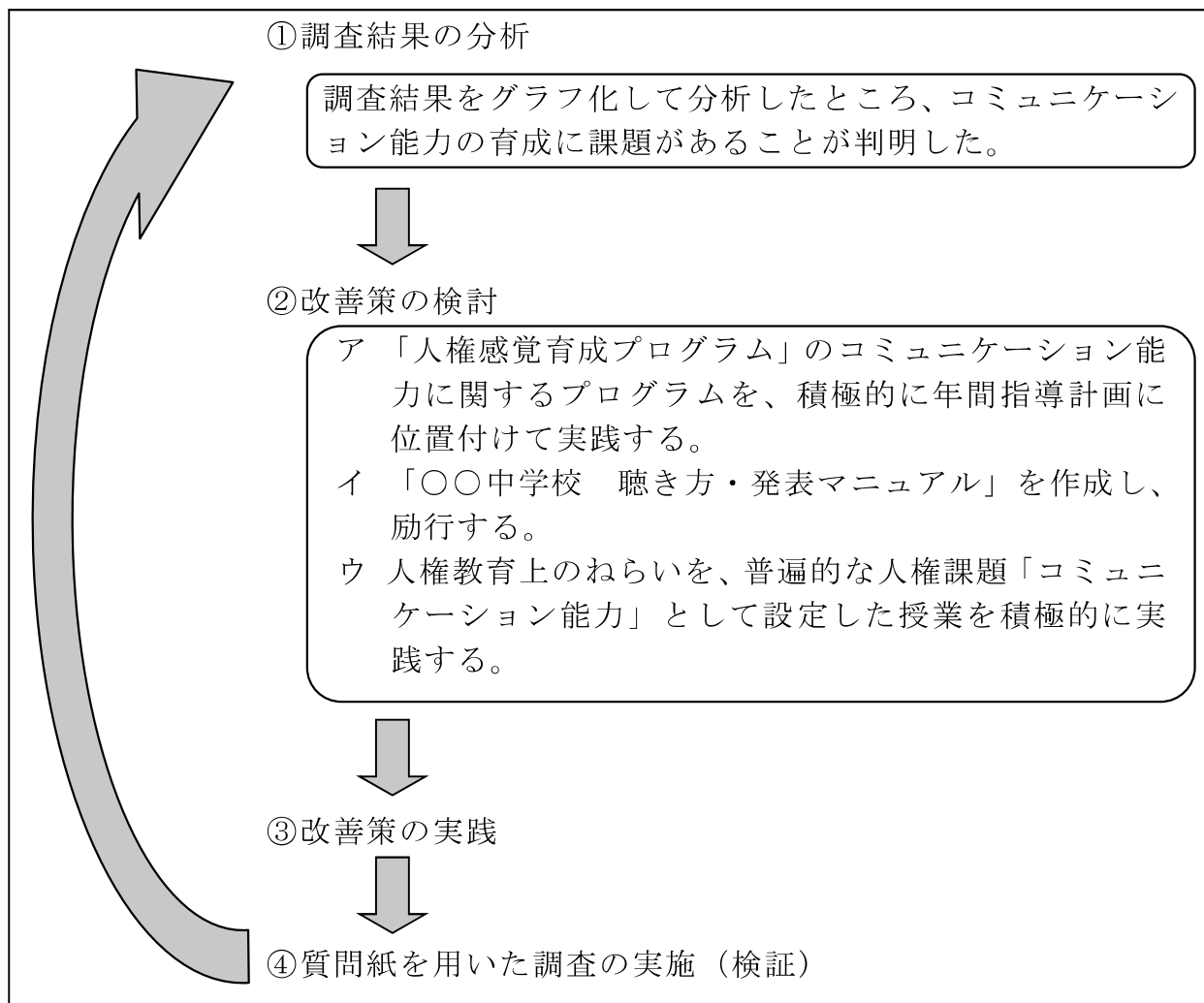


「知識」「価値」「技能」の観点別に見ると、「知識」に比べて「価値」「技能」の方がレーダーチャートの広がり（着色部の面積）が少ないことが分かります。今後は、「価値」「技能」、つまり「人権感覚」の育成に一層指導の重点を置くことが望まれます。

(4) 結果の活用について

質問紙を用いた調査によって、成果や課題を明確にすることができます。さらに、成果は意識して伸ばさせたり、課題に対しては改善策を考えて実践したりすることで、児童生徒の人権感覚を具体的に育成していくことができます。

(例) 中学校での活用例



質問紙の調査結果を分析し、課題解決のための改善策を考えます。その改善策を一定の期間実践した後、再び質問紙を用いた調査を実施して結果を分析し、改善策に効果があったかどうかを検証します。

このようなPDCAサイクルにより、人権感覚の育成の指導方法等について、具体的に改善を進めていくことができます。

4 教職員の人権感覚のチェックポイントについて

(1) 人権が尊重される授業づくり

人権教育の推進にあたり、日々の授業における活動の一つ一つが、人権尊重の雰囲気醸成の上での重要な要素となります。

以下に示すのは、人権教育の視点に立った授業づくりの工夫を進めていく際の主なチェックポイントの例です。

○自己存在感をもたせる支援の工夫

項目	
①結果にこだわらず、児童生徒の思考過程や学習過程を認めていますか。	
②意図的な指名等、一人一人が活躍する場や課題を工夫していますか。	
③互いの発言を最後まで聞いたり、結果だけでなく過程を大切にしたりする習慣が大切であることを、児童生徒に伝えていますか。	
④一人一人の名前を呼び、目を見て話し、話をよく聞いていますか。	
⑤発言しない児童生徒に声を掛けるなど配慮するとともに、他に活躍の場を設けるなど適切な支援を行っていますか。	

○共感的人間関係を育成する支援の工夫

項目	
⑥「誰にでも失敗はある」「誰もがよさや弱さをもっている」という認識に立って、互いを尊重し合う人間関係づくりを意識的に行っていますか。	
⑦一人一人が、自由に発言できる雰囲気づくりを行っていますか。	
⑧他者の発言や作品のよさに気付き、学ぼうとする態度が大切であることを、児童生徒に伝えていますか。	
⑨自分と異なる考えや意見を受け止め、理解する技能を身に付けられるように工夫していますか。	
⑩互いの役割や責任を認め合う態度を身に付けられるように工夫していますか。	

○自己選択・決定の場を設定する工夫

項目	
⑪複数の学習課題の中から、自分に合った課題を選択できる機会を設定していますか。	

⑫自分の習熟の度合いや興味・関心に基づいて、教材・教具を選択できる機会を設定していますか。	
⑬課題解決のための情報や資料を準備し、その活用方法について助言するなど、学習方法を選択できる機会を設定していますか。	
⑭児童生徒の実態を踏まえて多様な表現方法を提示し、児童生徒が表現方法を選択できる機会を設定していますか。	
⑮自他の学習課題やまとめ方等を振り返って対話する時間を設定し、今後の学習課題やまとめ方等について、選択・決定できる機会を設定していますか。	

(2) 人権が尊重される環境づくり

人権尊重の精神に立つ学校づくりは、学校における教育活動全体を通じて進めていくべきものであり、そのための取組は、授業づくりとともに、人権が尊重される「環境づくり」として、推進していく必要があります。

次に示すのは、人権教育の視点に立った環境づくりの工夫を進めていく際の主なチェックポイントの例です。

項 目	
①「今月の誕生日」「私の好きな言葉」「本や音楽の紹介」等のコーナーを設けるなど、相互理解や交流を深める工夫を行っていますか。	
②「気持ちを表す言葉」「聞き方・話し方のスキル」等の掲示物を示すなど、コミュニケーションを円滑にするための手がかりを示す工夫を行っていますか。	
③学習の成果物（作品等）を掲示する際、児童生徒自身の解説や評価（自己評価、他者評価）、教師の評価を添えるなど、達成感や有用感が高まる工夫を行っていますか。	
④児童生徒に話題を提供したり、問題意識を喚起するような情報を意図的に掲示したりするなど、問題意識を高める場づくりを工夫していますか。	
⑤児童生徒が集めた情報の中から、喜びや感動、疑問や怒りを感じたことを、級友に知らせるコーナーを設置したり、帰りの会で発表させたりするなど、発見の喜びを味わえる場づくりを工夫していますか。	
⑥児童生徒が共同作業できる広めの机を設置したり、筆記具・文房具を常備したりして、自発的・創造的な協働作業を促すなど、創造する喜びを味わえる場づくりを工夫していますか。	

※このチェックリストは、文部科学省 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕～実践編～」を参考に作成しました。